

## 手城こども園 自己評価

### 2024年度 自己評価と2025年度の重点的取り組み計画

当園では、2024年度の保育活動を振り返り、自己評価を通して職員一人ひとりが自身の成長や課題を整理しました。

この評価をもとに、2025年度に向けた目標と改善計画を立て、子どもたちの健やかな成長を支えるため、保育の質のさらなる向上に努めていきます。

### 幼保連携型認定こども園としての重点事業

#### (1) 質の高い乳幼児教育・保育の充実

2年目を迎える幼保連携型認定こども園として、より質の高い乳幼児教育・保育の提供を目指します。地域に根ざした施設としての役割を果たすため、子育て支援事業にも積極的に取り組みます。

- ☆ 幼保連携型認定こども園の役割を理解し、子どもの最善の利益を考慮した教育・保育を実践していきます。
- ☆ 子どもたちの「生きる力」(自発性・想像力・判断力・問題解決力)の基礎を育むため、0～5歳児の発達段階に応じた保育・教育を行い自由に創意工夫できる環境を整備していきます。

#### (2) 発達障害・情緒障害のある児童への支援体制の強化

- ☆ 一人ひとりの特性に応じた、きめ細やかな支援を実施
- ☆ 教育アドバイザーや専門機関との連携を強化し、支援体制を充実
- ☆ 幼保小連携の取り組みを継続し、就学へのスムーズな移行を支援
- ☆ 職員の専門性向上を図るため、資格取得や研修への参加を促進
- ☆ 発達障害の特性を持つ子どもに対し、一人ひとりに応じたきめ細やかな支援

#### (3) 職員の働きやすい環境づくりの推進

- ☆ ICTシステム「キッズビュー」を導入し、保護者のかたへの情報発信を効率的に行っていきます。
- ☆ 業務の省力化や書類作成時間の短縮を図り、職員が子どもと向き合う時間をより多く確保できるよう努めていきます。

### 2025年度の取り組み

#### ☆園舎の老朽化への対応

長期的な視点で、改装または新築の可能性を含めた計画を再検討していきます。

#### ☆職場環境の改善

子どもの主体的な育ちを支えるため、職員同士が互いにリスペクトし協力できる職場づくりを目指します。リーダー職員はマネジメント研修に参加し、組織力の向上を図ります。

#### ☆外部アドバイザーとの連携

広島県の教育アドバイザーによる継続的な来園を通じて、外部の視点を取り入れた保育の質の向上に努めます。

#### ☆ハラスメント防止と相談体制の整備

社労士との年間契約を結び、職員が安心して相談できる体制を整え、風通しの良い職場づくりを進めます。

#### ☆福利厚生事業の充実

全職員が労災費用共済に加入することで、万が一の際にも保障される安心の仕組みを導入。日々の保育に専念できるよう、心と体の両面から支える制度を充実させていきます。

## 2024年度保育内容等の自己評価

以下3点については、まだ十分とは言えない結果でした。改善策を今後の目標として、具体的な行動に移していきます。

### 改善策

#### 保育所保育指針の理解と活用

☆毎月1回、保育所保育指針を読み返す時間を設け、理念や内容を確認

☆指針の中から気になる項目をピックアップし、職員会議で共有・意見交換する

☆保育計画を立てる際に、指針の該当部分を参照する習慣をつける

#### 子ども・子育て支援制度の理解

☆制度に関する資料(厚生労働省のウェブサイトなど)を定期的に確認し、最新情報を把握する

☆支援制度の内容をまとめた簡単なメモを作成し、職員間で共有する

#### 子どもの課題発見とケーススタディ

☆日々の保育記録を丁寧に記入し、気になる行動や変化を見逃さない

☆発達段階や家庭環境などを踏まえた個別支援計画を作成し、職員間で共有する

どの項目も、少しずつ意識して取り組み改善していきます。「できていない」ではなく「これから伸ばせる」と捉え、保育教諭としての成長につなげていけたらと思います。

2025年8月実施 保護者アンケート

